

ブンナよ木からおりてこい (1987)

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

時間 53分

初公開日 1987/03/21

【解説】

『海の牙』『雁の寺』『飢餓海峡』などで知られる小説家・水上勉の同名作の劇場アニメ化。内容は蛙と他の自然界の動物の関係性の中で、生命の重さを語るもの。

お寺の池には、トノサマ蛙の集団が棲息。そのリーダーは若くて元気なブンナだった。美少女の蛙ユウナをからかったりして日々を送るブンナは、やがて限られた池の世界に飽き飽き。新天地を求めて池の脇の椎の木を昇るが、そこはトンビの餌置場だった。まもなく木の上には傷ついたモズや雀が放り出されて来る。冷徹な食物連鎖の輪の中、モズは傷ついたからには他者に食われるものと観念していた。だが雀は、ブンナを食べて力をつけるようモズに進言。他者の生命を糧に明日の生を繋ぐ弱肉強食の自然界の真理。そんな中で、ブンナは……。

総監督は名優・小沢栄太郎が就任し、さらに現場をまとめる監督職は実写畑の異才・丹野雄二が担当した。鈴木満と共同の作画監督は『ガンバの冒険』の樺島義夫。

【クレジット】

総監督	小沢栄太郎	
監督	丹野雄二	
企画	オフィスU 東急エージェンシー・インターナショナル 小澤優子	
プロデューサー	松木征二 小池弘文	
原作	水上勉	
脚本	山内久	
作画監督	樺島義夫 鈴木満	
撮影監督	都島雅義	
美術設定	伊藤主計	
音楽	池辺晋一郎	
声の出演	榊原郁恵 小沢栄太郎 山野史人 三谷昇 山本清 河上幸恵 杉山とく子	ブンナ 和尚 ネズミ 青大将 パパ蛙 ユウナ 姥蛙